（様式2） 実行計画管理シート

事業名	26	牧野高槻線等整備促進事業	部・課	土木部　土木総務課

総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち
	施策目標等		4　安全で快適な交通環境が整うまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
	施策目標		3　安全で快適な交通環境が整うまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	交通渋滞は、経済損失につながり、地域経済の発展を妨げる。 新名神高速道路へのアクセス道路の整備や淀川渡河橋の実現に向けた取り組みを進める。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	淀川渡河橋については、対岸市とも連携しながら実現に向けた取り組みを進める。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要 （目的・内容等）	本市と北摂地域との道路交通ネットワークの向上をめざし、淀川渡河橋の整備に向けて、高槻市等との協議を行うとともに、関係機関への要望等を行う。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・25年度に要望における根拠資料とするため淀川渡河橋の整備効果や課題などの検証を実施する。 ・検討を基に対岸市と必要性など認識を深めるため意見交換を行い、実現に向け国・府へ働きかけを行った。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・淀川渡河橋の整備に向けた高槻市等との協議、関係機関への要望
	実績（評価）	・高槻市と連携し、淀川渡河橋の整備に向けた関係機関への要望を実施。 ・6月に淀川渡河橋の効果的な位置については都市計画道路牧野高槻線が最適との方針が国と大阪府において確認され、8月に大阪府の都市整備中期計画（案）に牧野高槻線など関連道路が事業箇所として位置づけられた。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	牧野高槻線は、新名神高速道路（仮称）高槻ICへのアクセス強化につながることから、平成35年度末の新名神高速道路の全線供用にあわせた事業の推進が必要である。		
今後の対応	大阪府と相互協力しながら早期完成に向けた取り組みを進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）